

# 2024年度 9月・10月開講おすすめコース



機械系コース



生産性コース



電気・電子系コース

## 製造現場で活用するコーチング手法

|              |   |              |             |
|--------------|---|--------------|-------------|
| <b>訓練対象者</b> | 生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者  |              |             |
| <b>訓練内容</b>  | <p>管理・監督者として部下と意見が合わず又は育ってくれず、指導や育成に困ることが多いものです。コーチングの手法は部下の気持ちに配慮し、自尊心を傷つけることなく仕事に必要な見方や方法に気づかせる質問の方法です。このコースでは「コーチングの目的」「欲求の階層」「こんな場合の一言」などを理解し製造現場での活用を想定した多くの実習を通して習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生産活動とコーチング</li> <li>ラーニング・オーガニゼーション</li> <li>積極的傾聴</li> <li>コーチングが目指すもの</li> <li>コーチングの要点</li> <li>有効なカウンセリング</li> <li>製造現場における事例研究</li> <li>受講者の担当生産部署を考えコーチング手法を用いた実践的課題実習</li> </ol> <p>講師：株式会社モア・クリエイト（予定）</p> | <b>コース番号</b> | C8002       |
|              |   | <b>日程</b>    | 9/30,10/1,2 |
|              |   | <b>時間</b>    | 9:15~16:00  |
|              |   | <b>定員</b>    | 15人         |
|              |   | <b>受講料</b>   | ¥17,500     |
|              |   | <b>持参品</b>   | 筆記用具        |



## 公差設計技術

限界設計及びコストダウンを可能にする【公差設計及び解析】手法をマスターしよう！

|              |  |              |              |
|--------------|--|--------------|--------------|
| <b>訓練対象者</b> | 公差の設定に困っている方   |              |              |
| <b>訓練内容</b>  | <p>機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた最適な公差設定によりコスト競争力を強化するため、製品仕様と製造条件や製造コストを考慮した公差の設定・設計技術を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>公差の概要<br/>寸法公差、寸法公差と製品の形状、幾何公差</li> <li>公差解析<br/>(1) 公差設計の必要性<br/>(2) 完全互換性と不完全互換性による公差設定<br/>(3) 公差設計と部品製作の精度</li> <li>公差設計実習（グループによる解析実習）</li> <li>工程能力<br/>(1) 公差と工程能力の関係<br/>(2) 工程能力指数による公差の設定</li> </ol> <p>講師：株式会社プラーナー(予定)</p> <p>※本セミナーは、幾何公差の講習ではありません。</p> | <b>コース番号</b> | CO433        |
|              |  | <b>日程</b>    | 9/10,11,12   |
|              |  | <b>時間</b>    | 9:15~16:00   |
|              |  | <b>定員</b>    | 15人          |
|              |  | <b>受講料</b>   | ¥33,000      |
|              |  | <b>持参品</b>   | 筆記用具<br>関数電卓 |

## 金型切削における工具損傷対策と切削工具の選び方

|             |  |              |                     |
|-------------|--|--------------|---------------------|
| <b>使用機器</b> | マシニングセンタ、各種切削工具、輪郭形状測定機、表面粗さ測定機  |              |                     |
| <b>訓練内容</b> | <p>金型切削加工現場における形状加工の最適化を目指して、生産性向上、品質の向上を行うために必要となる切削工具と被削材（金型用材料）の材料特性・切削条件などから、刃物の損傷、その損傷形態、切削におけるトラブルに対応できる能力を習得し、コスト思想を持った工具の選択法を習得します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">加工工程を考える参考になった</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">実際に加工しているところを見せてもらい、加工のイメージが身についた</div> </div> <p>講師：株式会社 MOLDINO（予定）</p> | <b>コース番号</b> | C2821               |
|             |  | <b>日程</b>    | 9/11,12             |
|             |  | <b>時間</b>    | 9:15~16:00          |
|             |  | <b>定員</b>    | 12人                 |
|             |  | <b>受講料</b>   | ¥18,000             |
|             |  | <b>持参品</b>   | 関数電卓<br>筆記用具<br>作業帽 |



受講生のご意見

# 品質工学に基づくパラメータ設計実践技術

設計や開発、製造技術の最適化を目指して、【品質工学】を活用しましょう！

|       |   |       |             |
|-------|---|-------|-------------|
| 訓練対象者 | Excelの関数計算をできる方が望ましい  |       |             |
| 訓練内容  | 製品設計業務の効率化・最適化をめざして、研究・開発、設計、生産技術、製造技術の各分野で品質工学を実践するための手順を習得し、開発期間の圧縮とトラブルの未然防止を両立させる設計技術を習得します。                      | コース番号 | C0252       |
|       | <ol style="list-style-type: none"><li>品質工学の概要</li><li>実験計画と設計のパラメータ</li><li>動特性のパラメータ設計</li><li>静特性のパラメータ設計</li></ol> | 日程    | 9/30,10/1,2 |
|       |   | 時間    | 10:00~16:45 |
|       |   | 定員    | 15人         |
|       |   | 受講料   | ¥30,000     |
|       | 講師：有限会社アイテック・インターナショナル（予定）  | 持参品   | 筆記用具        |


## ろう付け技能クリニック

|      |  |       |                            |
|------|--|-------|----------------------------|
| 使用機器 | ガス溶接装置   |       |                            |
| 訓練内容 | ガスフレームによる低温溶接の概要、各種硬ろう材（銀ろう・真鍮ろう・りん銅ろう・アルミニウムろう）の特性を理解し、実践的なろう接の施工法を習得します。   | コース番号 | C2952                      |
|      | <ol style="list-style-type: none"><li>低温溶接概要</li><li>各種材料の硬ろう付け（銅、鋼、ステンレス、真鍮、アルミ）</li><li>各種硬ろうの特徴と選定</li><li>異種材料の硬ろう付け</li></ol> | 日程    | 10/3,4                     |
|      |  | 時間    | 9:15~16:00                 |
|      |  | 定員    | 10人                        |
|      |  | 受講料   | ¥25,000                    |
|      |  | 持参品   | 作業服、安全靴、帽子<br>薄革手袋<br>筆記用具 |

## 旋盤加工応用技術（複合課題編）

|       |   |       |                                   |
|-------|---|-------|-----------------------------------|
| 訓練対象者 | 「旋盤加工応用技術（内径・テーパ加工編）」を受講された方又は相当の技能を有する方  |       |                                   |
| 使用機器  | 汎用旋盤（WASINO LEO-80A）、各種切削工具、各種測定器   |       |                                   |
| 訓練内容  | 機械部品加工における旋盤加工作業の技能高度化や高能率化をめざして、要求される精度や加工効率を満足するために求められる技術・技能や改善・問題解決能力を、技能検定課題を例に使用工具、加工手順、作業時間等の分析を通じて習得します。  | コース番号 | C2051                             |
|       | <ol style="list-style-type: none"><li>コース概要及び技能検定概要</li><li>加工工程の考え方と作業手順書<br/>(1) 技能検定（普通旋盤作業）の実技課題について<br/>(2) 加工工程の考え方と注意点及び作業手順書の作成</li><li>切削工具とツーリング</li><li>加工条件と作業時間<br/>(1) 検定課題を例にした加工条件の考え方</li><li>課題加工実習による検証と対策</li></ol> | 日程    | 10/8,9,10                         |
|       |   | 時間    | 9:15~16:00<br>※初日のみ17:00に終了します。   |
|       |   | 定員    | 10人                               |
|       |   | 受講料   | ¥19,500                           |
|       | ※本コースの受講の前に、『旋盤加工応用技術（内径・テーパ加工編）』の受講をお勧めします。  | 持参品   | 作業服（上下）、作業帽、安全靴、筆記用具、電卓、保護眼鏡（貸出可） |

なんとなく行っていたが理解しながら作業出来るようになった！



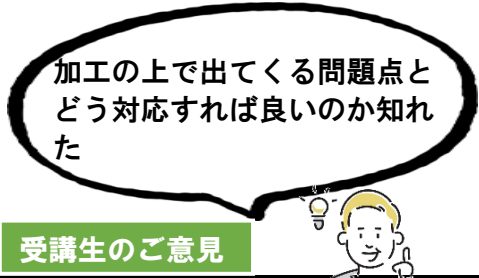
受講生のご意見

## フライス盤加工応用技術（はめ合わせ・勾配加工編）

|       |  |       |                                   |
|-------|--|-------|-----------------------------------|
| 訓練対象者 | 「フライス盤加工技術（溝・側面加工編）」を受講された方又は機械加工業務に従事し、ノギス、マイクロメータ等の基本的な測定器が使用できる方  |       |                                   |
| 使用機器  | フライス盤（HITACHI 2MW-V）、各種切削工具、各種測定器  |       |                                   |
| 訓練内容  | フライス盤作業において各種加工（六面体加工、溝削り、勾配合わせ等）を高精度に行うための切削理論や加工のための手法を理解し、実践的な技能・技術を習得します。  | コース番号 | C2031                             |
|       | <ol style="list-style-type: none"><li>概要</li><li>高精度加工</li><li>総合課題実習<br/>(1) 六面体加工 (2) 溝削り (3) 勾配合わせ</li><li>精度評価</li></ol> | 日程    | 10/8,9,10,11                      |
|       |  | 時間    | 9:15~16:00                        |
|       |  | 定員    | 9人                                |
|       |  | 受講料   | ¥29,000                           |
|       | ※本コース受講の前に、『フライス盤加工技術（溝・側面加工編）』の受講をお勧めします。   | 持参品   | 作業服（上下）、作業帽、安全靴、筆記用具、電卓、保護眼鏡（貸出可） |

# 難削材の切削加工技術

|       |   |       |            |
|-------|---|-------|------------|
| 訓練対象者 | 難削材の加工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者  |       |            |
| 使用機器  | 普通旋盤、各種切削工具   |       |            |
| 訓練内容  | 旋削作業における難削材加工の技能高度化をめざして、難削材料の機械的性質及び加工特性と各種工具の特性について理解し、加工精度と工具損傷の評価から最適な切削条件の設定及び加工法について習得します。<br><br>1. 難削材の特性<br>2. 難削材に適した切削工具<br>3. 難削材の切削加工<br>4. 難削材加工とトラブル対策<br><br>講師：株式会社タンガロイ（予定） | コース番号 | C2721      |
|       |   | 日程    | 10/16,17   |
|       |   | 時間    | 9：15～16：00 |
|       |   | 定員    | 12人        |
|       |   | 受講料   | ¥29,000    |
| 持参品   | 関数電卓<br>筆記用具<br>作業帽   |       |            |



# 鋳造シミュレーション技術

湯流れ凝固の理論とシミュレーションを習得しましょう

|      |   |       |             |
|------|---|-------|-------------|
| 使用機器 | 湯流れ凝固システム（JSCAST）   |       |             |
| 訓練内容 | 鋳造及びダイカスト製品製造における鋳造技術の高付加価値化をめざして、湯流れ凝固システムを利用した鋳造欠陥（湯回り不良・引け巣等）の発生予測をする技術を習得すると共に、凝固時の温度分布を活用した熱応力解析により、応力状態や変形状態を把握し分析評価できる技術を習得します。<br><br>1. 鋳造品における湯流れ凝固解析の必要性<br>（1）湯流れ凝固システムの概要<br>（2）鋳造法案のノウハウと鋳造法案の考え方<br>2. 鋳造欠陥予測方法とその対策<br>（1）鋳造欠陥予測（湯回り不良・ガス・引け巣等）<br>（2）熱応力解析による鋳造の変形・割れの評価<br>3. 実習<br>（1）自社部品での解析実施と欠陥発生予測<br><br>講師：クオリカ株式会社（予定） | コース番号 | C0842       |
|      |   | 日程    | 10/23,24    |
|      |   | 時間    | 10：00～16：45 |
|      |   | 定員    | 10人         |
|      |   | 受講料   | ¥18,500     |
| 持参品  | 筆記用具  |       |             |

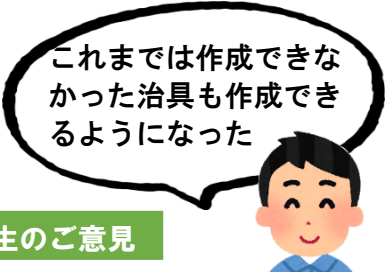
# 旋盤加工技術（外径・ねじ加工編）

|       |  |       |             |
|-------|--|-------|-------------|
| 訓練対象者 | 「精密測定技術」を受講された方又は機械加工業務に従事し、ノギス、マイクロメータ等の基本的な測定器が使用できる方  |       |             |
| 使用機器  | 汎用旋盤（WASINO LEO-80A）、各種切削工具、各種測定器  |       |             |
| 訓練内容  | 機械製造業務の効率化をめざして、切削理論から端面加工や外径加工、段付き加工といった汎用旋盤加工を通して、製造現場で対応できる知識と技術を習得します。<br><br>1. 汎用旋盤の概要<br>2. 切削理論と加工条件<br>3. 旋盤工具について<br>4. 旋盤加工実習<br><br>※本コース受講の前に、『精密測定技術』の受講をお勧めします。 | コース番号 | C2104       |
|       |  | 日程    | 10/29,30,31 |
|       |  | 時間    | 9：15～16：00  |
|       |  | 定員    | 10人         |
|       |  | 受講料   | ¥18,000     |
| 持参品   | 作業服（上下）、作業帽、安全靴、筆記用具、電卓、保護眼鏡（貸出可）  |       |             |

# 3次元CADを活用したサーフェスマデリング技術 《使用ソフト：Creo》

あなたが作成したモデルは「滑らか」ですか？

|       |  |       |             |
|-------|--|-------|-------------|
| 訓練対象者 | 3次元CADシステムを利用したことのある方（種類は問いません）  |       |             |
| 使用機器  | 3次元CADシステム（Creo Parametric）  |       |             |
| 訓練内容  | 付加価値のある製品の設計や設計品質の向上をめざして、製品の意匠性や機能を実現する自由曲面と自由曲線を作成する上で重要な「滑らかさ」・「連続性」・「曲線・曲面の評価方法」について理解し、生産現場に有効なサーフェスマデリング技術を習得します。<br><br>1. サーフェスに必要なコマンド類<br>2. 3次元CADを使ったサーフェスマデリング<br>3. 意匠設計<br><br>講師：龍菜 代表 西川 誠一（予定） | コース番号 | C0561       |
|       |  | 日程    | 10/29,30,31 |
|       |  | 時間    | 9：15～16：00  |
|       |  | 定員    | 12人         |
|       |  | 受講料   | ¥32,500     |
| 持参品   | 筆記用具   |       |             |



# 空調設備の省エネルギー対策

空調の省エネができるようになる！

|      |  |       |              |
|------|--|-------|--------------|
| 使用機器 | 空調設備、クランプメータ、電力計測器、二酸化炭素濃度測定器  |       |              |
| 訓練内容 | 空調設備における保守・点検の技能高度化をめざして、空調設備の省エネ対策ができる技能・技術を習得します。<br><br>1. 空調設備概要<br>2. 計測実習<br>3. 省エネ対策実習<br>(1) 負荷の低減<br>(2) 搬送動力の低減<br>(3) 熱源設備の効率化<br>(4) 最適な運用 | コース番号 | B1101        |
|      |  | 日程    | 9/26,27      |
|      |  | 時間    | 9:15~16:00   |
|      |  | 定員    | 10人          |
|      |  | 受講料   | ¥21,000      |
|      |  | 持参品   | 筆記用具<br>関数電卓 |



# 電力用インバータ回路の設計と応用技術

注目のコースです！

電力用インバータ回路設計技術をマスターしよう！

|      |  |       |            |
|------|--|-------|------------|
| 使用機器 | オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、デジタルテスタ、直流安定化電源、ブレッドボード等   |       |            |
| 訓練内容 | 電力回路に使用されるインバータの構成と特徴を理解しながら、回路設計技術を習得します。また、高速スイッチング動作における回路の問題点及び対策方法についても学びます。<br><br>1. インバータの回路構成<br>2. 主回路の製作<br>3. 制御回路の製作<br>4. インバータ回路<br><br>講師：有限会社浅井工業 浅井 紳哉 (予定)<br><br>※同じ内容のコースをポリテクセンター中部（愛知県）でも実施しています。 | コース番号 | B3021      |
|      |  | 日程    | 9/11,12,13 |
|      |  | 時間    | 9:15~16:00 |
|      |  | 定員    | 10人        |
|      |  | 受講料   | ¥34,000    |
|      |  | 持参品   | 筆記用具       |



# パワー・デバイス回路設計技術

省エネ実現のキーとなるパワーデバイスの活用技術をマスターしよう！

|      |  |       |            |
|------|--|-------|------------|
| 使用機器 | オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、デジタルテスタ、直流安定化電源、ブレッドボード等   |       |            |
| 訓練内容 | 各種パワーデバイスの原理・特性を理解し、電力制御回路実習を通して、各パワーデバイスの特徴の検証、スイッチング回路の設計手法・評価技術を習得します。<br><br>1. パワー・デバイスの種類<br>2. 各デバイスの特性、制御回路設計・検証<br>(1) ダイオード回路<br>(2) バイポーラトランジスタ<br>(3) 高速スイッチング回路<br>(4) サイリスタ制御回路<br>(5) MOSFET回路<br>(6) スwitching損失<br>(7) スwitching速度評価<br>(8) IGBT<br>(9) IPM<br>3. 応用回路<br>(1) スwitching動作・効率比較<br>(2) LED駆動回路<br>(3) ステップアップコンバータ<br>(4) スナバ回路<br>(5) 復調器<br>(6) PWM回路<br>(7) モータ制御回路<br>4. まとめ | コース番号 | B3002      |
|      |  | 日程    | 10/1,2,3   |
|      |  | 時間    | 9:15~16:00 |
|      |  | 定員    | 10人        |
|      |  | 受講料   | ¥18,500    |
|      |  | 持参品   | 筆記用具       |

# 自動化設備における画像処理技術《使用画像処理装置：キーエンス》

これから画像処理装置を導入される方はこのコースを

|       |  |       |            |
|-------|--|-------|------------|
| 訓練対象者 | これから画像処理装置の導入を検討されている方または画像処理装置の概要を知りたい方   |       |            |
| 使用機器  | 画像処理装置(キーエンスXG-X2000)、パソコン、ソフトウェア(キーエンスXG-H1X)、その他   |       |            |
| 訓練内容  | <p>生産現場における検査自動化のための画像処理技術の概要を習得するとともに、市販の画像処理装置を用いて、外観検査(有無・寸法・位置測定)を行うための技術を習得します。</p> <p>1. 画像処理技術の概要<br/>2. 撮像のための基礎知識<br/>3. 基本的な画像処理演算<br/>4. 画像処理応用機能<br/>5. 総合実習(画像設定支援ソフトの使い方等)</p> <p>講師：株式会社チェックデバイス 増田 修二 (予定)</p> <p>※昨年度セミナー「画像処理による自動化システム構築技術《使用画像処理装置：キーエンス》」と同様内容です。</p> | コース番号 | B0403      |
|       |  | 日程    | 10/7,8,9   |
|       |  | 時間    | 9:15~16:00 |
|       |  | 定員    | 10人        |
|       |  | 受講料   | ¥20,500    |
|       |  | 持参品   | 筆記用具       |

# リアルタイムOSによる組込みシステム開発技術《使用OS：TOPPERS》

|       |  |       |            |
|-------|--|-------|------------|
| 訓練対象者 | C言語の知識がある方   |       |            |
| 使用機器  | パソコン、ターゲットボード(AP-RX62N-0A)、拡張IOボード(EMB-RXIO-62N)、統合開発環境、デバッガ   |       |            |
| 訓練内容  | <p>μITRONの概要、リアルタイムOSを使用する場合のメリット/デメリット、μITRONの各種機能、タスク制御の手法等の知識を学び、RXマイコンボードを用いた実習を通して、μITRONによるシステム開発技術を習得します。</p> <p>1. RTOSの概要<br/> (1) μITRONの特徴<br/> (2) タスクの状態<br/> (3) μITRONの用語<br/> (4) システムコールの名称<br/> (5) 各種データタイプ<br/> 2. タスクおよびハンドラの記述<br/> (1) タスクの記述<br/> (2) 割り込みハンドラの記述<br/> (3) タイマハンドラの記述<br/> (4) 初期化ハンドラの記述<br/> 3. 各種機能の習得と総合プログラミング実習<br/> (1) タスクの管理機能<br/> (2) タスク付属同期機能<br/> (3) 排他制御<br/> (4) 拡張同期・通信機能<br/> (5) 割り込み管理機能<br/> (6) メモリプール管理機能<br/> (7) 時間管理機能<br/> (8) システム管理機能<br/> (9) ターゲットボードの概略<br/> (10) 総合プログラミング実習およびテスト</p> | コース番号 | B5061      |
|       |  | 日程    | 10/9,10,11 |
|       |  | 時間    | 9:15~16:00 |
|       |  | 定員    | 12人        |
|       |  | 受講料   | ¥16,500    |
|       |  | 持参品   | 筆記用具       |

# 自動化設備における画像処理技術(外観検査編)《使用画像処理装置：キーエンス》

外観検査(傷)に特化した画像処理技術を習得できます

|       |   |       |            |
|-------|---|-------|------------|
| 訓練対象者 | 自動化設備における画像処理技術《使用画像処理装置：キーエンス》受講の方または同等の技術(画像処理装置XG-Xの操作経験)をお持ちの方  |       |            |
| 使用機器  | 画像処理装置(キーエンスXG-X2000)、パソコン、ソフトウェア(キーエンスXG-H1X)、その他  |       |            |
| 訓練内容  | <p>生産現場における検査自動化のための画像処理技術の概要を習得するとともに、市販の画像処理装置を用いて、外観検査(傷)を行うための技術を習得します。</p> <p>1. 画像処理技術の概要<br/>2. 撮像のための基礎知識<br/>3. 外観検査に用いる処理について<br/>4. 総合実習</p> <p>講師：株式会社チェックデバイス 増田 修二 (予定)</p> | コース番号 | B0412      |
|       |   | 日程    | 10/10,11   |
|       |   | 時間    | 9:15~16:00 |
|       |   | 定員    | 10人        |
|       |   | 受講料   | ¥14,500    |
|       |   | 持参品   | 筆記用具       |

# 有接点シーケンス制御の実践技術

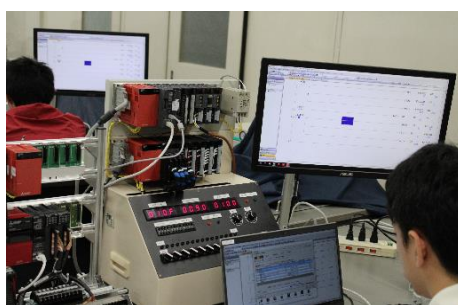
配線から有接点シーケンス制御がやさしく学べます

|       |  |       |             |
|-------|--|-------|-------------|
| 訓練対象者 | 有接点リレーシーケンスの概略を習得したい方  |       |             |
| 使用機器  | 各種制御機器、実習用制御盤、テスタ、配線用工具、その他  |       |             |
| 訓練内容  | 有接点リレーシーケンス制御における各種制御機器の種類、選定方法、各種シーケンス制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・配線技術を習得します。<br><br>1. シーケンス制御の概要<br>2. 各種制御機器の種類<br>3. 主回路と制御回路<br>(1) 各種シーケンス制御回路<br>4. 総合実習<br>(1) シーケンス制御回路の配線<br>(2) 動作確認・検証 | コース番号 | B001B       |
|       |  | 日程    | 10/22,23,24 |
|       |  | 時間    | 9:15~16:00  |
|       |  | 定員    | 10人         |
|       |  | 受講料   | ¥16,500     |
|       |  | 持参品   | 筆記用具        |

## PLC制御応用技術《使用PLC：キーエンスKV》

PLCでアナログデータを扱えるようになります

|       |  |       |            |
|-------|--|-------|------------|
| 訓練対象者 | 「実践的PLC制御技術《使用PLC：キーエンスKV》」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方  |       |            |
| 使用機器  | PLC（キーエンスKV-8000）、パソコン、プログラミングツール(キーエンスKV STUDIO)、AD,DA変換ユニット、負荷装置、工具、その他  |       |            |
| 訓練内容  | PLCによるワード単位の命令、AD,DA変換ユニットを使用したプログラミング技法等の数値処理に関する技術を習得します。<br><br>1. PLCで扱う数値データについて<br>2. 数値処理命令（転送、演算、比較など）<br>3. 数値データの入出力方法<br>4. 総合実習<br>(1) 数値表示<br>(2) アナログ/デジタル変換<br>(3) 温度制御システム実習<br><br>講師：株式会社チェックデバイス 増田 修二（予定）<br><br>※本コースは、使用PLCの異なる同名コース(B0121~B0123,B0371,B0372,B0271,B0272)と訓練内容が類似しておりますので、ご注意ください。 | コース番号 | B0322      |
|       |  | 日程    | 10/24,25   |
|       |  | 時間    | 9:15~16:00 |
|       |  | 定員    | 10人        |
|       |  | 受講料   | ¥12,000    |
|       |  | 持参品   | 筆記用具       |



### PLC制御応用技術セミナー風景



操作する機器は一人一台！  
少人数できめ細かいセミナーを心がけています。

実際に機器を操作しながら授業をしていきます。  
だから身に付きやすいと評判です。

わからないことがあったら遠慮なく質問してくださいね！

